

◆アームロールコンテナに関するご相談◆

1. 高さ2mのアームロールコンテナのシート掛けの際、コンテナのフックの全てにゴム紐を掛ける必要があるでしょうか。

【回答】

シート掛けの目的は、積載物を安定させ、車両走行中に積載物が落下しないようにするためです。

このため、コンテナにシートがしっかり掛けられ十分引っ張られていないと、シートにたるみが生じ荷台で積載物が動き、シートが緩んだり外れて積載物が道路に散乱してしまうおそれがあります。

これを防止するためコンテナには、ゴム紐でシートを十分引っ張るために必要な数のフックが取付けられていると思われますので、フックの全てにゴム紐を掛けた方が良いと思います。

2. アームロールコンテナやダンプのシート掛けをする際、積荷に上らないシート掛けの方法は、どのようなものがあるのでしょうか。

【回答】

(1) アームロールコンテナについては、コンテナを車体に積載する前に路面上からシート掛けをすれば、高所作業にならないのではないのでしょうか。なお、コンテナのあおりが高い場合は、可搬式作業台や踏台等（2m以下の高さ）で対応可能と思われます。

(2) 積荷に上がらないシート掛けの方法としては、別添のような荷台シート掛け自動装置や荷台シート手動式巻上装置というものも開発されているようです。全く荷台に上がらなくていいのか等を含め安全面や実用的かどうかは不明です。

3. 計量台の上に乗った車両に輪留めをする必要はあるのでしょうか。

【回答】

輪留めの目的は、運転者が車両から降りた際、車両の逸走を防止するためです。

計量台上では、運転者は運転席で待機し降りる必要はなく、計量中はブレーキを掛けている状態であり車両が動き出すことはないでしょう。もし、動き出したとしても運転者が対応できますので、あえて輪留めをする必要はないと思われます。（必要のない行動により、運転席から降りる際の転落や計量台上での転倒災害等の発生も考えられます。）



荷台シート掛け自動装置



荷台シート手動式巻上装置